

商学科 ディプロマ・ポリシー (DP)、カリキュラム・ポリシー (CP)及びアセスメント・ポリシー

DP		CP 編成方針	アセスメント・ポリシー		
第一層	A	幅広い教養と専門的知識・技能を身に付けている。	卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 資質・能力については、下表に定めたとおり、各授業科目の到達目標に対する学修者の到達 度について実施されるDP観点別評価の結果を集約するとともに、本学が定める大学のアセ スメントマップに示す各種調査などを必要に応じて用いることによって、その修得状況を把握し 可視化する。 また、本学科の教育内容・活動については、把握・可視化した学修成果をふまえ、アセスマ ントマップに示す各種調査などを用いることで、多角的に検証する。 その検証結果は、自己点検・評価活動やFD活動において、本学科の教育改革・改善に資 するよう活用する。		
	B	学びと研究の質を高めることができる思考力・判断力・表現力等を幅広く身に付けている。			
	C	地域社会及び国内外の諸課題の解決に主体的・創造的に参画・貢献することができる。			
	D	自己の成長と社会の発展のために、自律的に学び続ける態度を身に付けている。			
第二層 (共通科目)			学修成果を測定する方法		
	A-1	幅広い学問領域の基本的な概念や理論を修得し、教養としての知識・技能を身に付けることで、社会現象を多面的に理解することができる。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「知識・技能」の学修成果を測定する。	主要科目 教養科目	
	B-1	学びや研究の基盤となる思考力・判断力・表現力を獲得し、幅広い領域に活用することができる。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「思考力・判断力・表現力等」の学修成果を測定するとともに、外部検定試験や外部アセスメントテストの結果も活用する。	外国語 データリテラシー スタディスキル ヘルステラシー	
	C-1	修得した資質・能力を主体的に活用し、多様な人々と協働しながら実際の課題に取り組み、創造的に課題解決に向かうことができる。	各科目におけるグループワークや研究発表、実演等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「総合的な経験・創造性」の学修成果を測定する。	ライフデザイン応用	
	D-1	社会的課題やそれに対する学習・研究を通して、我々の生き方の指針を深く考え、自律的に真理を探究し続けることができる。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト、研究発表等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「態度・志向性」の学修成果を測定する。	キリスト教 ライフデザイン基礎 西南学院史	
第二層 (専攻科目)			A	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP 観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して企業経営に関する基礎的な知識習得の学修成果を測定する。	
	A-2	商学分野の知識と技能を適切に獲得・活用することができる。	A-2	商学の基本的な学問体系に関する知識を養成する科目において、学修者の基礎知識を問う小テスト、レポート、定期テスト、振り返りシート等によって、その学修成果を測定する。	基礎商学
	A-3	モノとカネの効率的配分や円滑な流通について理解している。	A-3	商学部門科目において、経済社会・企業経営に関する理論と実態について、これらの知識を問う小テスト・レポート・定期テスト等によってその学修成果を測定する。状況により、学修者に質問紙調査を実施し、学修成果を測定する場合もある。	流通総論
	A-4	企業成果の計算・公表およびそれらに基づく経営管理について理解している。	A-4	会計学部門科目において、経済社会・経営分析に関する基礎的な技法について、これらの知識・技能を問う小テスト・レポート・定期テスト等によってその学修成果を測定する。状況により、学修者に質問紙調査を実施し、学修成果を測定する場合もある。	簿記原理 I
			B	商学部門科目や会計学部門科目の周辺的な学問領域の科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP 観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して当該領域の知識ならびに思考力・判断力に関する学修成果を測定する。	
	B-2	経済社会に生起する問題の本質を正しく認識することができる。	B-2	商学部門科目や会計学部門科目の周辺的な学問領域に関する知識を養成する科目において、主に基礎知識を問う小テスト、主に思考力・表現力を問うレポート、主に思考力・判断力・知識を問う定期テスト等によって学修成果を測定する。	経営管理論
			C	各科目におけるグループワークや研究発表等によって、到達状況をDP 観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して学修成果を測定する。グループワークや研究発表等の成果物はレポート・報告書・論文・発表等からなり、それら成果物から総合的な学修経験の程度や創造性などの水準を判断する。	
C-2	経済社会に柔軟に対応でき、かつ、高い倫理観と高度な専門知識を身に付けている。	C-2	商学部門・会計学部門科目の知識を応用し研究を実施する専門的な演習において、学修者のレポート・報告書・論文・研究等の発表・演習への参加態度によって学修成果を測定する。	専門演習 I	
		D	各科目におけるレポートや研究発表等によって、到達状況をDP 観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「専門知識に基づく自律的な調査・探究」の学修成果を測定する。		
D-2	専攻する分野を中心に、学問や社会の基本原則や真理について、自律的に探究することができる。	D-2	卒業論文/卒業研究において、先行研究の精査・仮説の検証とその方法・主題の独創性・学術的意義をふまえ、学修成果を測定する。	卒業論文	